

練馬のみどり大特集!!

こもれびみどり号

vol. 1

まちなかのみどりは みんなのみどり

東京 23 区で一番の緑被率を誇る練馬区では様々なみどりが見られますが、「まちなかのみどり」と聞くと、何を思い浮かべるでしょうか。

木が茂る公園、駅前の花壇、道路沿いの街路樹、川沿いの桜並木など、公共のみどりに加え、民有地のみどりも「まちなかのみどり」です。たとえば、きれいに手入れされた生垣や、農家の屋敷森、初夏にな

ると目を楽しませてくれるバラの咲くお庭、そしてキャベツを育てている畑など。こうした、練馬に住む農家や区民の方ひとりひとりの手で育まれてきたみどりは、練馬のまちづくりを考えていくうえで欠かせない、練馬を代表する「みどり」です。

なぜ、こうしたみどりが練馬のまちにとって大切なのでしょうか？その理由を考えていきます。

ねりままちづくり情報誌



第61号
平成29(2017)年
2月

K O M O R E B I

<http://nerimachi.jp/>

発行 公益財団法人 練馬区環境まちづくり公社
みどりのまちづくりセンター



「人間の憩いには、やっぱり
みどりが必要なんじゃないかな」
…区民調査隊に聞きました。

まちなかでは、落ち葉は
やっかいものにされがちだけ
れど、落ち葉を踏みしめて歩
くのはよいものですね。

まちを散策していて、
みどりがあるとホッと
するね。近所を歩いて
いるときにホッとでき
るのは大切です。

公共のみどり
21.7%
265.2ha



みどりの多さが
感じられるまちは
いいですね!

住宅地の中で大きな木が
残っていると、おっと
思いますね。守ってい
くのは大変だろうと思
うけれど、やっぱりま
ちなかにみどりがあると
嬉しい。

練馬の“みどり”を支える民有地

練馬区の 25.4% (1,222ha) は緑で覆われています。そして、住宅都市“練馬”を象徴するように、練馬のみどりは生垣や庭木などの宅地のみどりが最も多く、全体の約 56% (679ha) を占めています。次に多いのが農地で、約 21% (256ha) となっています。これに社寺などを合わせた民有地のみどりは約 78%あり、練馬のみどりの多くが民有地で成り立っていることがわかります。一方で、道路や公園などの公共のみどりも約 22%あり、これらを効果的にまちづくりの中で生かしていくことが求められています。

※ 平成 23 年度みどりの実態調査 (練馬区)より円グラフを作図
※ みどりの数値は、航空写真から緑に覆われた土地を抽出、合わせて行った実地調査により得られたものです。

今号で取り上げた“みどり”

- 1 森もりファンクラブ in 高松 (P.2)
- 2 暮らしの庭楽しみ隊 (P.2)
- 3 オープンガーデン (P.2)
- 4 下久保憩いの森 (P.3)
- 5 石庭の森緑地 (P.3)



オープンガーデンを楽しむ人々
(大泉学園町7丁目)



「桜台の家」の庭から広がる「まちの庭」
(桜台4丁目)



石神井池に向かう坂の景観
(石神井町6丁目)

●こもれび区民調査隊とは
「こもれび」の編集を編集部と一緒に
行う区民有志のみなさんです。
毎号、特集地域を歩き、こもれび
誌面のアイデアを出し合います。
メンバーも随時募集中!
詳しくは4面をご覧ください。



まちづくりの視点から、みどりを考えていきます

平成 28 年 3 月末の「練馬みどりの機構」の解散にともない、平成 28 年 4 月 1 日から、区のみどり事業の一部を(公財)練馬区環境まちづくり公社が受託することになりました。これにともない、「練馬まちづくりセンター」の名称を「みどりのまちづくりセンター」に改称しました。みどり事業をまちづくり支援の一部として位置づけ、まちなかのみどりの保全や活用、育成について、みなさんと考えていきます。



農園での畑作業を楽しむ人々
(高松1丁目)



春のキャベツ畑と農家の花々
(南大泉1丁目)



南高松憩いの森でのピクニック
(高松2丁目)

とっておきの風景(練馬区地域景観資源)
練馬区では、地域で生まれ今後も大切にしていきたい身近な風景を、「とっておきの風景」として登録しています。